

# わかくさ

社会福祉法人栄光会

児童養護施設 若草園

〒787-0155 高知県四万十市下田2-2-1-1

TEL(0880)33-0247 FAX(0880)33-0518

ホームページ→<https://wakakusaen.holy.jp/>

発行：福留久美 編集：田中貴実子 小島かをり



## 巻頭言



本園ユニットリーダー/  
個別対応担当

森田 涼子

### 育児相談窓口

児童家庭支援センター

わかくさ

TEL (0880)  
31-0311

受付時間  
9:00~17:00

緊急の場合は何時でも対応します

☆お気軽にお電話下さい！

立冬とはいえ、今年は暖かい晩秋です。皆様お変わりなくお過ごしのことと存じます。

私は14年間担当していたBホームを離れ、2年目になりました。現在はA・B・Cホームのユニットリーダーをさせていただいております。

Bホーム担当の頃は、子どもとお風呂で数を数えたり、夕食の時1日の出来事を話しながら、笑ったり、時には泣くこともあったり、ちょっとした子どもの成長を感じて嬉しくなったりと、毎日が楽しく過ぎていきました。今はそんな担当だった頃とは違い、ホーム職員と子どもが、安心して生活が送れるようにサポートをする立場に変わりました。ただがむしゃらに、子どもの事だけを考えて、当たり前で過ごさせていた頃が懐かしく、寂しさを感じる事もあります。

今、現在のサポート役の難しさに悩む事もたくさんありますが、いつも周りに助けられ感謝しております。まだまだユニットリーダーとしては力不足とは思いますが、少しでも子ども達の笑顔が多く見られるよう頑張っていきたいと思っております。

3年間のコロナ禍の中、制限のある生活を余儀なくされてきましたが、少しずつ以前の生活を取り戻しつつあります。しかし、コロナに加えインフルエンザが流行していたりと、まだまだ心配は続きそうです。

最後になりましたが、皆様の日頃のご支援に感謝し、健やかな毎日をお祈りします。

# 読もっか高知新聞



1000m走で1ばんに  
下田小 三年 イブさん

2学きは、うんどう会と音楽さいをが  
んぱりたいたです。うんどう会は1000  
m走を本気で走りたいです。なぜかとい  
うと、きょ年はSくんが1ばんだったか  
ら、今年はぼくが1ばんになりたいから  
です。

音楽さいは、リコーダーをはやくおぼ  
えて、みんなでおんていを合わせたいで  
す。なぜかという、おんていが合え  
ば、いいがっそうになるからです。みん  
なでいいがっそうにしたいです。

読もっか高知新聞に掲載されました

# 四万十市文化展



やったー大せいこう  
具同小 二年 ハルさん

虫を見つけたよ  
草むらを見ていたら  
あ、コウロギ  
あ、バッタ  
あ、とんぼ  
ぴよんぴよんとんで  
つかまえるのはむずかしい  
あ、ぼうしがあった  
ぼうしをかぶせてつかまえた  
やったーうれしいな

四万十市文化展入賞しました^^



# 芸術の秋



# スポーツの秋



秋は運動会に音楽祭  
子ども達は大忙し^^

# 食欲の秋



全校生徒合唱のピアノ伴奏を  
しました。とても素敵でした^^



マラソン大会

ゴールはもう少しだー！！



# 全国児童養護施設協議会児童文化奨励絵画展



☆入賞☆

ぼくのすきなせいざ  
小3 I. K



高知県選考会

☆入賞☆  
虫取り  
小2 K. K



高知県選考会

☆奨励賞☆  
とうもろこしできたよ  
小2 H. A

# 里親リフレッシュサロン

11月25日、里親登録されている方が  
集まって色々とおしゃべりをする  
リフレッシュサロンを、ここ若草園で開  
催しました。東西に長い高知県で、何かイ  
ベントがあるという、どうしても高知  
県中部での開催になってしまうので  
すが、「ぜひ西部でも！」と声があがり、今  
年度若草園に里親支援専門相談員が配  
置された事あって、初めて幡多で開催  
することができました。それぞれの経験や  
想い、情熱をお話下さって、とても素  
敵な時間でした。高知市内から参加し  
て下さった方もいましたが、西部地域の里  
親さんが多く参加して下さい、こんなにも  
子どもたちのことを一緒に考えて下さる  
仲間がこの西部地区にもたくさんいると  
いうことを改めて実感し嬉しく思いま  
した。

里親支援専門相談員 田中



みかん狩り

いっぱい取ったどー！！



誕生日会

各ホームで誕生日会をします。本  
人の好きな物がたくさん並びお祝  
いです^^産まれてきてくれてあり  
がとう！



時には自分のお  
弁当は自分で詰  
めます。

時には料理だっ  
てします。



# 若草園を支える会 役員紹介

若草園の後援会組織「若草園を支える会」は若草園の充実、発  
展と入退所児童の生活問題の支援・啓発に寄与する事を目的に  
2007年（平成19年度）に発足しました。会員や賛助会員を募集  
して若草園の広報活動を支援しています。

会 長 副会長 副会長 副会長 監 事 監 事



矢野川 研 野地ちえみ 林 博 山崎利彦 乾 梢 宮崎治茂



AB合同バーベキュー

スイカ収穫

小玉でしたが、赤く  
熟れました^^



今年は雨がが多くキャンプは中  
止になってしまい、AB合同で  
BBQをしました。

# 令和5年度上期 ご寄付一覧表

(2023. 4. 1~9. 30)

皆様に心から感謝申し上げます。<50音順・敬称略>

## \* 寄付金

上原農園  
太田 進  
岡島 喜三  
岡山 啓  
河内屋商店  
久保 明美  
坂本 達夫  
芝 雅人・哉  
田村商事  
渡会 慎一郎  
土森 裕子  
土曜ROCKの会  
中脇 美弥子  
西尾恒幸・亜紀  
林 博  
平岡 朋也  
福井石油店  
福田 千恵  
(株)文誠堂  
保育の父・佐竹音次郎に学ぶ会  
増田 裕  
宮部 水秋  
宮村 勝文  
MENG JENJING  
森田 智枝



ありがとう  
ございました!

以上 25 口、497,000 円

## \* 寄付物品

(株)足摺農園 (土佐ジロー玉子)  
魚富 (みかん)  
河内屋商店 (女児浴衣、帯)  
黒岩 将 (2回/野菜3種)  
黒田 里枝 (百人一首カルタ)  
沢良木 (女児服)  
卒園児勤務先 (歯ブラシ)  
田中 則明 (釣り竿、釣り道具、本)  
内藤 彰信 (カレーフレック)  
日本教職員組合高知支部 (図書券)  
原 雅彦 (2回/キュウリ、ブルーベリー)  
細川 秀信 (ジャガイモ 50kg 玉ネギ 10kg)  
前田 亮 (2回/駄菓子、飲料)  
水野 雪絵 (トイレットペーパー、ティッシュ)  
門司 一徹 (2回/キャンディー、雑貨)

以上 19 口 15 人、時価総額 109,500 円

## \* ボランティア

CHELSEA (チェルシー) → 理容  
若草園を支える会 → 機関誌発送作業

10.10 高知県スポーツ用品小売商協同組合さんより、たくさんのボールを頂きました。早速、各ホームで使わせてもらっております。ありがとうございました。



寄贈  
「ピーヤ(四万十赤鉄橋)」  
國見光泉氏

四万十市中村百笑在住  
玄関に飾っています。ご覧下さい。



# オレンジリボンキャンペーン

児童家庭支援センター相談員 有友 沙希

11月には児童虐待防止推進月間です。高知県では県内5つの児童家庭支援センターと関係機関が協力して高知オレンジリボンキャンペーンを展開しております。

今年11月22日(日)に島田妙子先生をお招きし「虐待の淵を生き抜いてく人にも自分にもあたらぬ社会をめざして」と題した講演会を高知市春野文化ホールで行いました。またSNSイベント「オレンジを探そうや!」と題しまして#イベントを11月30日まで開催しておりました。

講演会では、『人はそれぞれ「こうあるべき」の境界線が違い、許せないゾーンも違うので理解しあう事が難しく、この事が怒りの原点になると話されていきました。『子どもの頃から怒りの感情を吐かしていく事』や『怒りの感情をためていく事で、手が出来なくなると、虐待につながる事などを、体験をもとに、わかりやすく教えて頂き大変有意義な時間を過ごす事ができました。』

講演会、SNSイベントに参加して下さった方々、ご協力して下さった方々、本当にありがとうございました。今後ともオレンジリボンキャンペーンにご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 【令和5年度虐待防止標語】

あなたしか気づいてないかも そのサイン

編集後記

●アンガーマネジメントは、怒りや感情に振り回されない生活を実現するための学びです。●講演会では「イライラ・怒りの温度(点数)をはかる」というものがありました。●隣の席の人と、最近あったイライラしたことについて、私も含め皆さんが楽しい話でもするかのように盛り上がり大笑いしながら話しました。その後、「今話されたことは、怒りの温度でいうと何度くらいですか?」と。「0から10までで、10というのはチーターやライオンなど、動物が命をかけて相手をかみ殺すくらいのアドレナリンが出ている状態です。」と言われ、隣の席の人と、お互いに「0ですね!」と笑い合いました。●生活の中で起こる「イライラとしてしまうこと」。相手が家族や特に子どもになると、このイライラをその場でその時についぶちまけてしまいがちです。●でも、今回のように私を感じた「イライラとすること」は、0程度のどうでもいいことで、私の中にある【こうあるべき!】がもとで起こったものだったのだと気づきました。

●自分の信じている、譲れないこだわりの中から、これは許せるかな、と思える範囲を広げていくことで、自分自身も過ごしやすくなるのではないかな。ということも教えてもらいました。そうはいっても人間だから、すぐには難しいことかもしれませんが、子どもにも周りの人にも自分にもあたらぬ社会をめざしたいという島田さんの言葉のように、私も怒りの感情を理解して、怒りと上手に付き合えるようになりたいと思いました。

たなか

